

実 務 経 験 証 明 書

下記の者は、 造園 工事に關し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 7 年 4 月 21日

※実務経験で2業種以上の担当になろうとする場合、実務経験期間は重複できないので注意（平成28年5月31日までにとび・土工事業許可で請け負った解体工事に係る実務経験期間については、平成28年6月1日以降、とび・土工事業及び解体工事双方の実務経験期間として二重に計算できる。）

・証明者は、証明期間内に被証明者が在籍していた法人の代表者又は個人事業主（原則として使用者が証明者）。
・証明者が申請者以外の建設業者の場合は、許可番号、許可日及び許可業種を左の余白に記入する。

証明者の立場からみた被証明者との関係を記入する。
（例）役員、社員、従業員 等

証明者 青森市長島1丁目1番1号
青森土木 株式会社
代表取締役 青森 太郎
被証明者との関係 社員

実際に雇用されていた期間を記入する。
（現在もその会社で勤務している場合は、期間の終わりは空欄でもよい。）

技 術 者 の 氏 名		工藤 三郎	生年月日	S. 50. 4. 1	使用された期	平成18年 4月から 令和7年 4月まで
使 用 者 の 商 号 又 は 名 称		青森土木 株式会社	実務経験を得た当時の商号又は名称を記入する。			
職 名		実 務 経 験 の 内 容			実 務 経 験 年 数	
工事部現場主任		〇〇庭園工事			平成23年4月から23年8月まで	
〃		〇〇緑道整備工事 他2件			平成23年9月から24年8月まで	
工事課工事係長		△△町公園植栽工事			平成24年9月から25年3月まで	
〃		△△園庭改修工事			平成25年4月から26年3月まで	
〃		〇〇邸庭園工事 他2件			平成26年7月から27年3月まで	
〃		〃			平成27年4月から28年3月まで	
〃		〃			平成28年4月から29年3月まで	
〃		〃			平成29年4月から30年3月まで	
〃		〃			平成30年4月から31年3月まで	
〃		〇〇公園改修工事 他3件			平成31年4月から令和2年3月まで	
〃		△△公園植栽工事 他2件			令和2年4月から 3年3月まで	
〃		△△邸庭園工事 他3件			令和5年4月から 6年3月まで	
〃		□□公園改修工事			令和6年4月から 7年3月まで	
					年 月から 年 月まで	
					年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由					合計 満 10年 8月	

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
 - 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
 - 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
 - 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。
- ※ 内容確認のため、証明者に問合せをする場合があります。

実務経験年数の合計を記載する。
※ 原則として、1行ごとに片落として（1か月分除いて）計算する。
ただし、契約書等により、月の初めから月末まで行っていたことが確認できる分については、片落としはしない。
（例）△△園庭改修工事 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
→この場合、実務経験として認められる期間は、片落としすると11か月間だが、契約書等で工期が4月1日から3月31日までであることが確認できた場合は、片落としせず、12か月間で計算する。